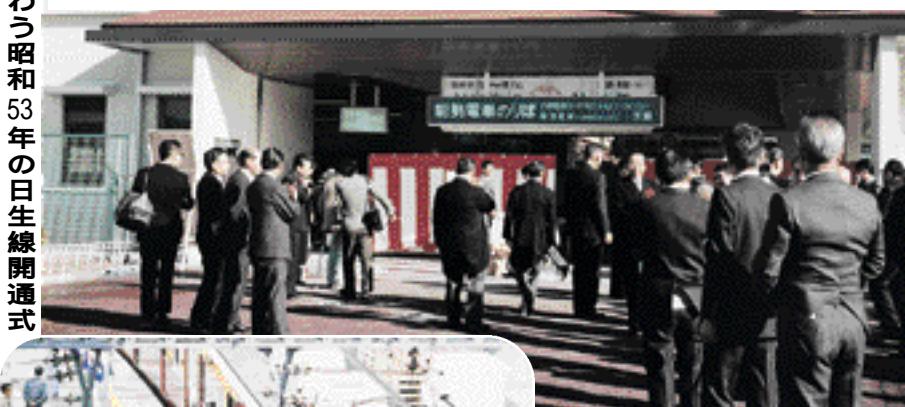


たくさんの人でにぎわう昭和53年の日生線開通式

私達の町の玄関口



鉄道ファンがカメラを手に駆け付けた平成9年の日生エクスプレス運行記念イベント

モダンなデザインの駅舎
日生中央といふ駅名は、
日生ニュータウンの中央に

日生中央駅前情報プラザ INAGAWA

日生中央駅の改札を出て右に行くと「日生中央駅前情報プラザ INAGAWA」があります。ここでは、町内の案内や特産品の販売をしています。



また、平日午前9時から午後4時までに電話予約をすると、住民票・印鑑証明書・所得証明書などを時間外で受け取ることができます。



時間外交付サービスの案内をする担当者

これは、役場の業務時間内に窓口に行くことができない人のためのサービスで、平日は午後5時45分から午後7時まで、また、土・日・祝日は午前11時から午後7時まで利用することができる、とても便利なサービスです。

【証明書の予約・問合せ】

住民票・印鑑証明書などは、住民生活課(766-8700)
税務証明は、税務課(766-8702)

濡れ根がずに歩けるようになります。駅から駅への通路には屋根が設けられています。駅から駅への通路には、多くの人が利

より便利で快適に

2カ所には、駅の南側と北側の1タリ一が設けられ、特に現在は、駅の朝夕には、多くの人が通勤・通学に利

用されています。駅の南側と北側の1タリ一が設けられ、特に現在は、駅の朝夕には、多くの人が通勤・通学に利

用されています。駅の南側と北側の1タリ一が設けられ、特に現在は、駅の朝夕には、多くの人が通勤・通学に利

後編集記集

いながわ特派員

日生線が開通して30年、現在、駅は無人化されてしましました。駅前は大変にぎわい、普段とは違った表情を見せていました。

日生線が開通して30年、現在、駅は無人化されてしましました。駅前は大変にぎわい、普段とは違った表情を見せていました。

能勢電鉄 日生線の開通

能勢電鉄の誕生と
日生線の開通

能勢電鉄の前身「能勢電気軌道」は、妙見山への参拝者と能勢地方からの特産品の輸送を目的に明治41年に設立され、大正2年に川西能勢口駅から一の鳥居間の参

6kmの日生線は、日生二ユタウンの住宅開発とともに、山下から日生中央間2kmまで延長され、大正12年には妙見口までの13.3kmが開通しました。

日生ニユータウンの工事

人口は7032人でした
が、日生線の開通によって
乗客の総数は平成7年
と、昨年11月の調査によ
ると、日生中央駅の1日の乗

客数は2万人を突破、35年前の4万人

に成16年には3万人、4年後には1万人で、昭和元年には4万人

に成16年には